

夢と誇り

気楽に楽しめる ウェル・ビーイングなまちに

令和8年、2026年が始まりました。本年も高松市のまちづくりに温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

私の今年のキーワードの漢字は「楽」(ガク。ラク。たの(しい))です。多くの市民が「気楽に」まちへ出て、日常の中に色々な「楽しみ」を発見できる年にしたいと願っています。そのためには、公共交通の利便性を高め、よりウォークアブルなまちにしていく必要があります。そんなまちの環境の中で作り出される港周辺や商店街のにぎわい、郊外部の癒し。それぞれの地域で育まれる人や文化のつながりの一つひとつが、高松らしいウェル・ビーイング(身体的、精神的、社会的に幸福で満たされた状態)で「楽しい」暮らしを形づくりま

す。二月には、第6回高松国際ピアノコンクールも開催されます。世界中から若き才能が集い、市内のあちこちで「音楽」が鳴り響く特別な機会です。ピアノを中心とした「音の楽しみ」を多くの人と分かち合えれば幸いです。

高松市長 大西 義人

大西ひでと
後援会報

vol.20
2026年1月



大阪・関西万博にて

高松市の着実な発展

大西ひでと後援会会長 平田 喜一郎



後援会会員の皆様方におかれましては、日頃から大西市長への御支援、心より御礼申し上げます。

さて、2025年は市政、国政ともに大きく変わった年、節目の年でありました。高松市では、サンポート地区で、二月に県立アリーナが開館、四月に大学が開校したことで、高松駅周辺の人の流れや雰囲気が一変いたしました。

また、入場者が二千五百万人を超えた大阪・関西万博や六回目となる瀬戸内国際芸術祭の開催に伴い、国内外から多くの人が高松市を訪れ、観光地や商店街では今も賑わいをみせています。

一方、国政において、七月の参議院議員選挙の結果を経て、政府与党の枠組みが変わり、初の女性総理が誕生するという新たな展開をみせた変革の年でもありました。

私は、大西市長がこれまで築いてきた基盤と節目の年にしっかりと対応してきたことを踏まえれば、高松市は今後とも着実に発展して行くものと確信しております。

後援会といたしましては、引き続き大西市長を全力で支えてまいりたいと存じますので、会員皆様方のなお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

夢と誇り 大西ひでと後援会会報 vol.20 令和8年1月1日発行

編集発行/大西ひでと後援会 〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせビル1F TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624

大西ひでとの 主な活動報告2025

HIDETO ONISHI ACTIVITY REPORT 2025

2/16 みんなで考える 『四国の新幹線シンポジウム in 高松』



芝浦工業大学工学部の岩倉成志教授と金沢市都市政策局の本島一二担当次長に講演、事例紹介をしていただきました。新幹線の実現には、様々な関係機関が連携・協力し、新幹線整備による未来のビジョンを共有し、機運の醸成を図ることが大変重要です。

4/7 高松市中央卸売市場 新青果棟開場セレモニー



新青果棟が開場して初せりが行われるにあたり、ごあいさつを行い、せり開始の合図の鐘を打ち鳴らしました。市民の皆さまの生活を支える流通拠点、また市民に親しまれる食の発信拠点施設として、重要な役割を担っていただけるよう努めます。

4/18 瀬戸内国際芸術祭 2025 開会式



芸術祭実行委員会の副会長、開催会場の市長として、開会式及びレセプションに出席しました。お越しいただく方々を迎える玄関口として、芸術祭の開催会場の一つとして、春・夏・秋の会期中、国内外からお越しいただくお客さまが快適に滞在していただけるよう全力で取り組みました。

5/22 ハッピーアワー高松



東京事務所を設置している「WeWork」のイベントで、約80名の参加者と本市に関わるクイズで楽しんだ後、「歴史」、「海」、「音楽」をキーワードに、本市の魅力を伝えました。今後も様々な機会を捉え、本市の魅力をPRしていきます。

6/29 高松市合併 20周年記念 令和7年度高松市総合防災訓練



南海トラフ地震などの災害に備え、市消防局や多くの団体・事業者が参加して総合防災訓練を行いました。ドクターヘリや防災ヘリの救助訓練もあり、引き続き防災対策と防災意識の一層の向上に取り組みます。

10/9-10 第87回全国都市問題会議



一般報告の発表者として本市の取り組みについて講演を行ったほか、「都市縮小時代の持続可能なまちづくり『人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松』」と題して、「コンパクト・プラス・ネットワーク」、「都市ブランドの向上」などについて説明しました。

10/16 令和7年度 知事・市長トップ会談



本市が提案した「中心市街地における夜間景観の創出」、県が提案した「高松中心市街地のプロムナード化」などの議題について、池田知事と意見交換をしました。今後も県と連携・協力の関係を維持しながら、より良いまちづくりを進めます。

大西ひでと後援会事務所



〒760-0062 高松市塩上町10-5 池商はせビル1階
TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624

大西ひでと後援会 <http://www.oi-hideto.com/>

2025 後援会活動報告

1月4日
後援会会報「夢と誇り」第19号を発行
会報第19号を発行し、全会員に会費納入依頼とともに送付しました。

5月10日
令和7年度役員会、総会および懇親会を開催
役員会に続き、会員196名が出席して通常総会を開催し、その後の懇親会において、大西市長と会員が交流を深めました。





新ロゴ「TKMT」活用し、シティブロモーション

2025年2月、高松に関わる人みんなが一丸となって、戦略的なシティブロモーションを進めていくための「高松市シティブロモーション推進ビジョン」を策定しました。このビジョンの中で、みんなで楽しみながら高松の魅力を発信できる新たなロゴマーク「TKMT」フレームを考案しました。

高松が「選ばれるまち」となるため、「TKMT」を活用し、高松に住む人だけでなく、関係人口、交流人口に加え、高松に関わる企業や団体など「高松人(たかまつびと)」の輪を広げます。



「TGC香川2025」への参画

県立アリーナで5月6日に開催された国内最大級のファッションイベント「TGC香川2025」に高松市はステージイベントやブース出展などで参画しました。当日は、延べ約9,800人が会場に来場し、延べ約110万人の方が配信を視聴されるなど、若い世代に本市の存在をPRすることができました。



「大阪・関西万博」への参画

2025年4月30日から5月3日までの4日間、香川県や県内の自治体とともに、「大阪・関西万博」に参画しました。「高松盆栽」、「香川漆器」、「庵治石」、「讃岐かがり手まり」などの伝統工芸品を展示するとともに、「香川漆器」と「讃岐のり染」の職人による作業実演も行いました。このほか、神戸市との連携催事や「西のゴールデンルートアライアンス」の一員としても万博に参画し、本市の魅力をPRしました。



民間企業との連携

本市の新たなロゴマーク「TKMT」を、事業者との連携により効果的に発信しました。今後は事業者だけでなく教育機関や地域の皆さまとも連携し、「TKMT」を活用した更なるシティブロモーションに取り組みます。



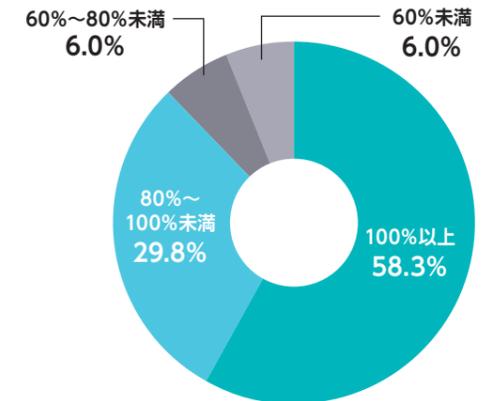
マニフェスト2023 令和6年度施策の達成状況

大西市長は、「文化の重視と人間性の回復」を基本理念として「夢と誇りが持てる世界都市・高松」を作り上げるために策定したマニフェスト2023に基づき、様々な施策に取り組んでいます。令和6年度のマニフェスト達成状況をお知らせします。

【検証の概要】

マニフェストでは7つの政策キーワードに分けて具体的な77の施策を掲げています。そのうち、令和6年度に目標値を設定している成果指標84項目の評価結果です。

目標値を設定している成果指標84項目のうち、達成率が80%以上のA評価が74項目(88.1%)でした。達成率が80%に満たなかった理由は、整備方針の変更や関係機関の事情によりスケジュールに影響を受けたことなどです。



注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にはなっていません。

「文化の重視と人間性の回復」を基本に「夢と誇りが持てる世界都市・高松」を

3つの指向	独創	未来	世界
	他を真似るのではなく自ら考え実行する	今日より明日を良くするために実行する	常に世界の中の高松を意識して実行する
7つの政策	7つの政策キーワードごとの達成率の平均も全て90%以上と高水準であり、概ね順調に推移しています。		
	達成率の平均		
	1. 子どもを産み育て、働きやすいまち(選ばれるまち) 子ども医療費の拡充、母子保健事業の充実、子どもの貧困対策など11施策	105.6%	
	2. 環境に優しくコンパクトなまち(持続可能なまち) 中心市街地の賑わいの創出、空き家対策、ゼロカーボンシティの実現など12施策	100.6%	
	3. 自治が充実し誰もが活躍できるまち(男女共同参画、信頼、協働のまち) コミュニティセンターの計画的整備、大学等との連携、政策コンテストの実施など14施策	95.1%	
	4. コロナ対策、防災対策等(安全、安心なまち) 自主防災組織等の活性化、防災士の養成、交通安全対策、雨水処理対策など7施策	100.9%	
	5. 健康で福祉が行き届くまち(健康都市、地域共生社会) ヤングケアラー対策、地域包括ケアシステムの構築、犬猫の殺処分ゼロ対策など11施策	95.6%	
	6. 産業振興、スマートシティ、DXの推進(デジタル田園都市) 企業誘致、高松産ごじまん品の振興、行政手続きのオンライン化、競輪場の再整備など11施策	124.0%	
	7. 文化芸術スポーツの振興、観光、景観(創造性豊かなまち) パラスポーツの振興、塩江道の駅エリアの開発、屋島の再生、景観の保全など11施策	122.4%	